

新聞広告デジタル制作・送稿ガイド

ver.2.0

[Mac OS X / Illustrator CS2・CS 対応版]

社団法人 **日本広告業協会**

本ガイドは、Mac OS X環境での制作・送稿に対応したものです。Mac OS 9環境で制作・送稿する場合は、従来のガイドブック（新聞広告デジタル制作・送稿ガイド ver.1.5）をご使用ください。新聞広告原稿を制作する場合には、新聞社の受け取れる制作仕様環境を確認し、注意して作成してください。

はじめに

新聞広告原稿の送稿形態がデジタルデータに移り替わるにつれて、その制作環境も大きく変化してきました。撮影を始め画像合成・レイアウトから送稿データの作成までが、デジタルで完結する運用に変わりつつあります。また、受け手の新聞社もアナログ送稿を終了する動きが多く出てきました。

それに伴って、新しい制作アプリケーションやDTP環境が、表現方法や動作の安定性において旧環境と差があることも知られてきています。ガイドブックの改定に際し、(社)日本広告業協会では2005年から新聞76社を対象に入稿仕様に関する調査を行い、本ガイドの基礎とすべく検討を重ねてきました。

デジタル送稿が進むにつれ、入稿時間の短縮などによるメリットも多く寄与されるようになってきていますが、データの内容確認についてはこれまで以上に多くの知識とルールを知る必要が求められています。複雑化している環境の中、送る側の正しいデータ制作と正しいデータ保存があってはじめて、トラブルのない掲載へ至る。という事がデジタル送稿の基本となっています。

本ガイドは「新聞広告デジタル制作・送稿ガイド Ver.1.5」から、より新しい制作環境への対応と送稿方法に焦点を絞った形になっており、(社)日本新聞協会、(株)デジタルセンドと連携をとりながらまとめております。原稿作者のみならず、新聞広告に携わる方々のお役に立てていただければ幸いです。

2007年11月

本ガイドはMac OS X/Illustrator CS2、CSに対応したものです。

※Intel Mac、Mac OS X 10.5 (Leopard) 及びIllustrator CS3については、本ガイド作成時点では未検証です。

CONTENTS

データ制作から送稿まで

Flow	ワークフロー 2-3
Notes	基本的な注意事項 4-5
ALL	原稿データ全般編 6-10
Uncommon	新聞社の個別事項 11
Photoshop	フォトショップ編 12-15
CS2	イラストレーター CS2 編 16-17
CS	イラストレーター CS 編 18-19
SET	Mac OS X 送稿セット 20
Info	(社)日本新聞協会のサイト 協力／参考文献 21

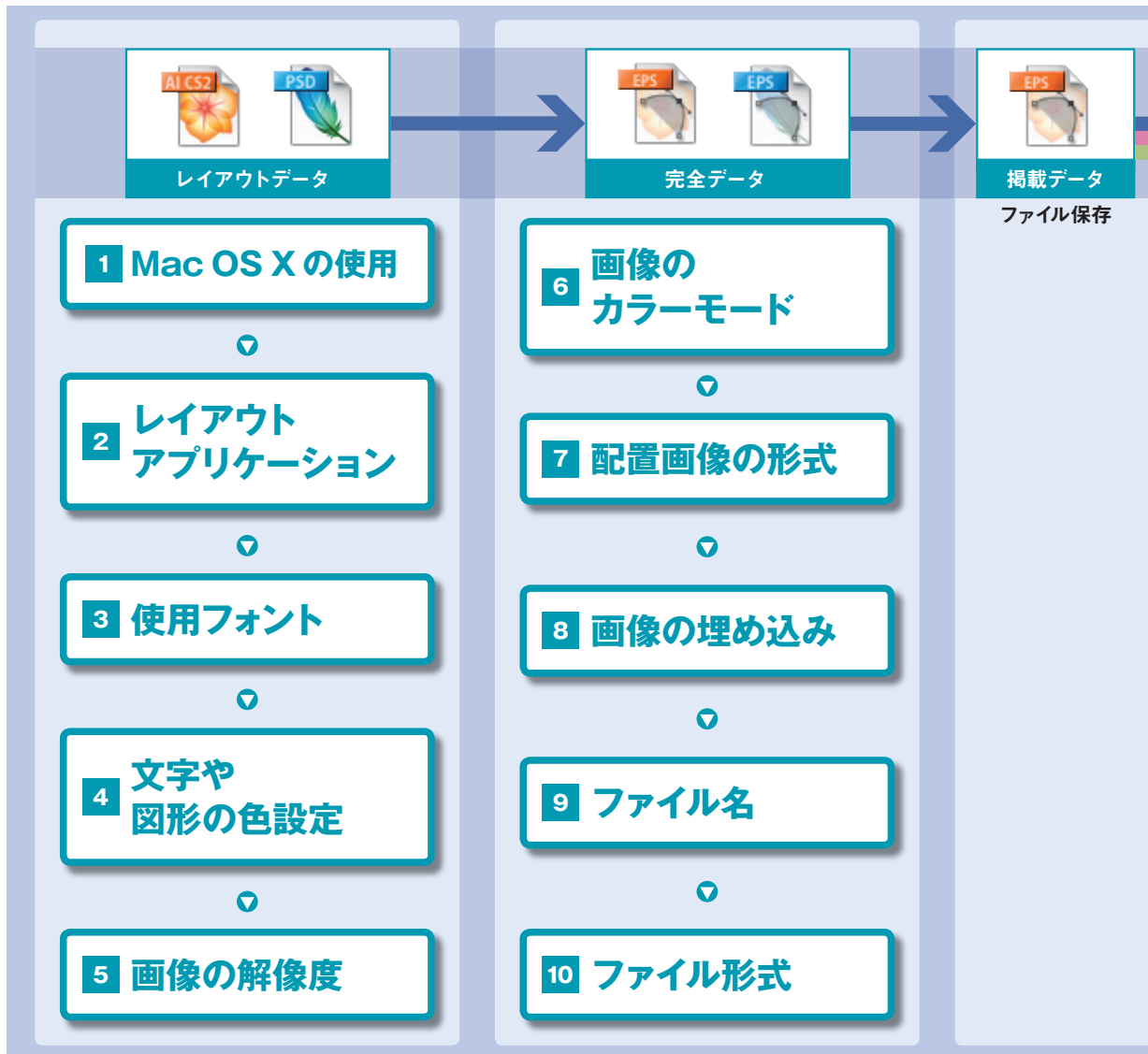
Flow

送稿を行うための必須12原則

トラブルのないデータ制作

デジタルセンド*経由で送信する場合 → MO・CD-Rで送稿する場合 → 色見本ゲラが必要な場合 →

データ制作



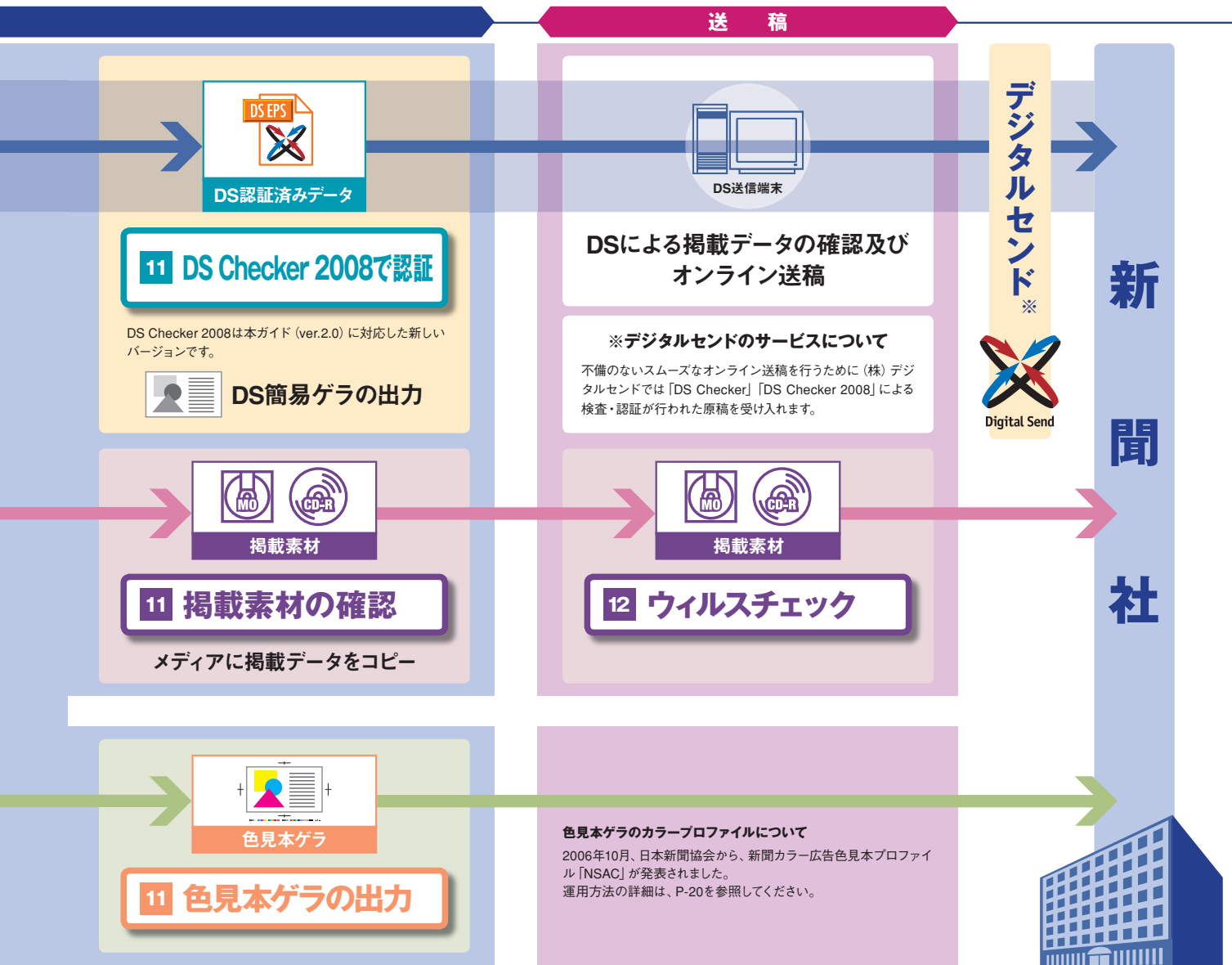
- 1 Mac OS X 10.4.x (Tiger)、10.3.9 (Panther)、10.2.8 (Jaguar) を使用する。 → P-06
※Tigerは、最終バージョンにアップデートしてください。
- 2 Adobe Illustrator CS2 (12.0.1J)、CS (11.0.1J) を使用する。 → P-06
- 3 フォントはすべてアウトライン化。 → P-09
- 4 スミ1色の場合はグレースケールに、4色カラーの場合はCMYKカラーにする。RGBカラーは厳禁。 → P-07
- 5 画像の解像度は掲載実寸で170~450dpi程度。 → P-12

- 6 スミ1色の場合はグレースケールに、4色カラーの場合はCMYKカラーにする。RGBカラーは厳禁。 → P-12
- 7 配置画像のフォーマット形式はEPS、TIFF、PSD形式。アタリ画像ではなく、適切な範囲をトリミングして実画像を配置する。 → P-13・15
- 8 配置画像は全て埋め込む。 → P-08
- 9 全角漢字、ひらがな、カタカナ、半角英数字、記号は半角アンダーバーのみを使用。[.eps]の拡張子をつける。文字数は、拡張子を含め31文字以内とする。 → P-09
- 10 掲載データのファイルは<EPS形式>の1ファイルで。 → P-06・20



データ制作から送稿までの流れ

P2・P3で使用しているアプリケーションのアイコンは、CS2のものでありますが実際の作業においてはその限りではありません。



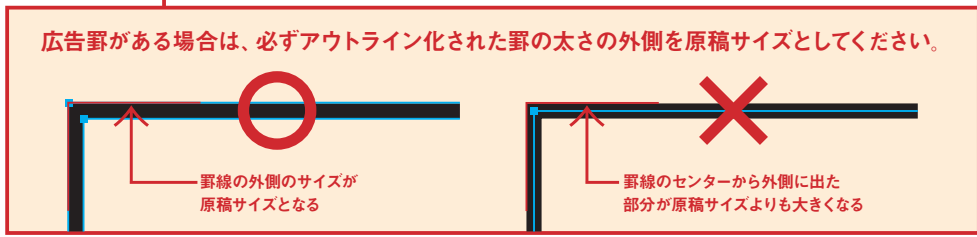
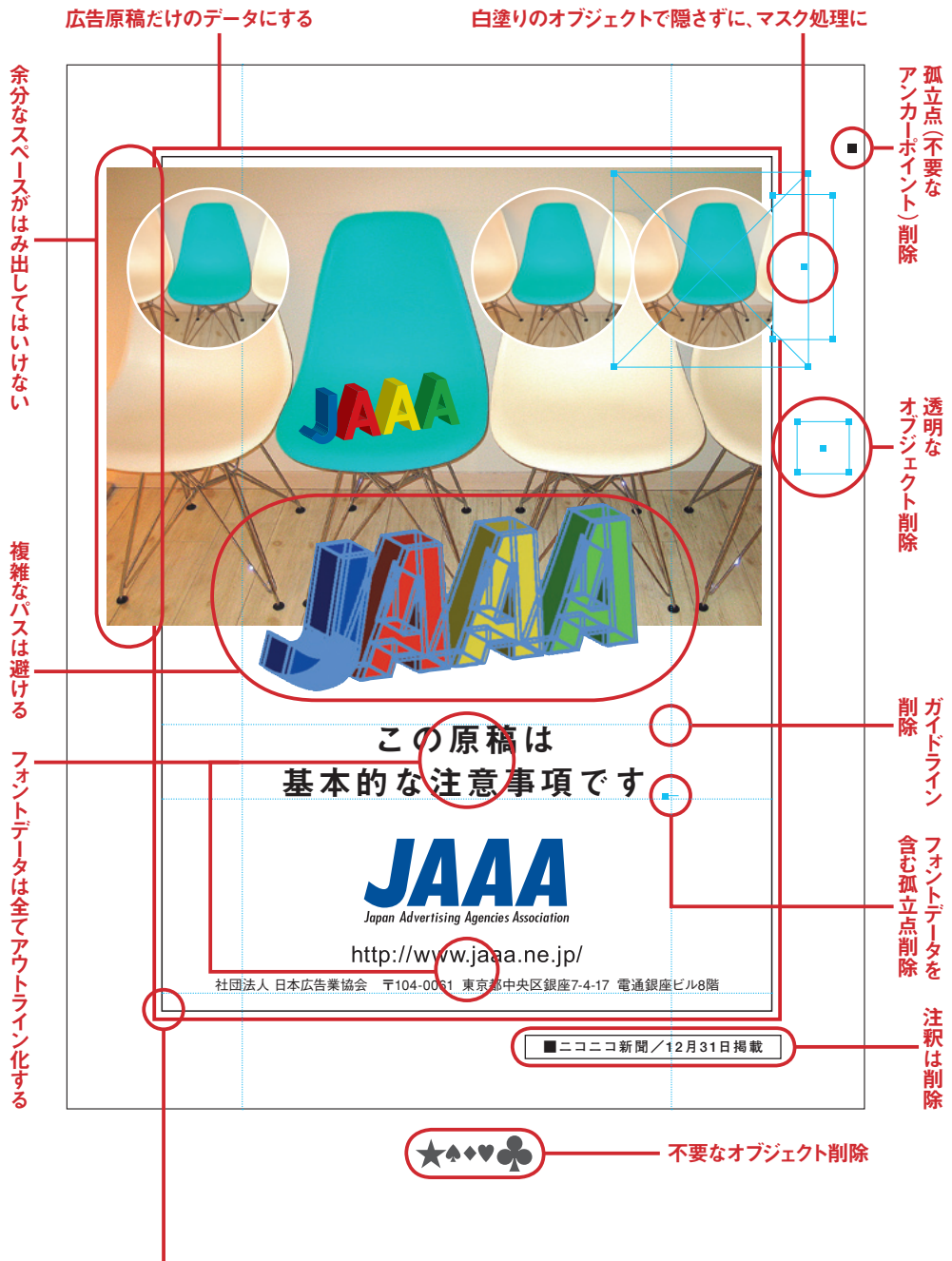
- 11** DS Checker 2008により掲載データに不備がないか検査を行い、正しいデータには認証を行いDS簡易ゲラを添付する。➡ P-20
- 11** PostScriptプリンターによる、EPS保存された掲載データからの原寸出力見本を確認。一部の新聞社では、原寸出力見本が必要な場合があります。➡ P-20
DS Checker 2008は、プリフライトソフトとしても有効です。
- 11** <カラー原稿の場合> 各新聞社の規定に基づいた色見本となる念校が必要な場合があります。➡ P-20

- 12** 作成したファイル、送稿するMOやCD-Rなどは必ずウィルスチェックをする。➡ P-10
- 一部の新聞社では、貼り込まれた画像ファイルが必要な場合があります。

Notes

基本的な注意事項

Basic notes



■ 制作環境 (Macintoshを使用)

Mac OS X 10.4.x (Tiger)、10.3.9 (Panther)、10.2.8 (Jaguar)	
Adobe Photoshop	CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)
Adobe Illustrator	CS2 (12.0.1J) / CS (11.0.1J)

Adobe Photoshop 7.0.1J以下のバージョンの使用に関しては、当協会発行の「新聞広告デジタル制作・送稿ガイド ver.1.5」を参照してください。
アプリケーションについては、メーカーよりアップデートが配布されている場合があります。詳しくはメーカーにお問い合わせください。
Tigerは、最終バージョンにアップデートしてください。

上記以外の環境を使用する場合は、事前に各新聞社へご相談ください。

■ 制作上の注意

■ フォント

- ◎フォントデータは全てアウトライン化する。
- ◎フォントデータを含む孤立点は削除する。

■ 不要なオブジェクトなどの削除

- ◎制作物の外側に不要なオブジェクト・文字・孤立点 (不要なアンカーポイント) があると、新聞社のRIPではすべてのデータがある範囲を出力するので必ずチェックして取り除く。
- ◎制作物の中に孤立点がある場合も、ゴミとなって表れることがあるので削除する。
- ◎ガイドラインも認識されることがあるので、削除する。
- ◎不要なレイヤーや、広告原稿に含まれない注釈などは入れない。

■ 複雑なパス

- ◎複雑なパスや、アンカーポイントが非常に多いデータは、出力エラーを起こすことがあるので、画像ファイルとして配置するか、不要なアンカーポイントを削除するなど事前に回避する。

■ その他

- ◎EPSデータをEPSデータ内に再配置するネस्टィングを2回以上行うことは、エラーの原因となるので避ける。
- ◎グループ化はマスクや複合パスなど必要最低限に留め、オブジェクトはなるべくグループ化を解除しロックもはずす。
- ◎混乱した作業状況をそのままファイルに持ち込まない。同じ色で重なり合うオブジェクトは合体させたり、レイアウト要素ごとに必要最低限にレイヤーを分けるか統合するなど、整理整頓されたファイルを作成する。
- ◎6pt未満のヌキ文字、0.3pt未満の罫、5%未満の平網等を使用すると、本機印刷時にツブレ・カスレ・再現されないなど不都合が発生する場合がありますので、運用の際には注意する。
- ◎本ガイドで扱っていない機能、形式等の運用は注意する。

■ 新聞社の個別事項

新聞社の処理により、以下の項目は運用や掲載結果が異なる場合があります。

■ 原稿サイズ・広告罫	■ オーバープリント	■ スクリーンパラメータ
-------------	------------	--------------

運用方法の詳細はP-11を参照してください。

ALL

データフォーマット

Basic environment

Mac版のIllustrator EPS形式。

参考

EPS保存



EPS [Encapsulated PostScript] とは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) が開発した、グラフィックとテキストを記述できるファイル形式です。[カプセル化されたPostScript format] という意味を持ち、PostScriptファイルの再加工を可能にしました。通常、内部記述はASCIIフォーマットで書かれています。データ自体がPostScriptで書かれているため、PostScript対応の出力機では最も安定して出力できると言われています。また、印刷会社の製版システムでそのまま展開できるため、現状では最も安全な保存形式です。

ALL

Mac OS のバージョン

Basic environment

Mac OS X 10.4.x (Tiger)、10.3.9 (Panther)、10.2.8 (Jaguar) を使用する。

※CS2を使用する場合は、10.2.8以上のOS Xを使用してください。

※Tigerは、最終バージョンにアップデートしてください。

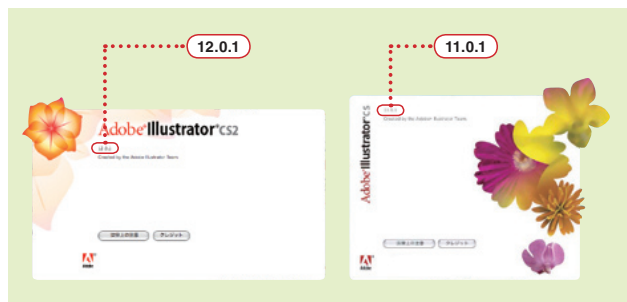
ALL

Illustrator のバージョン

Basic environment

CS2 (12.0.1J)、CS (11.0.1J) を使用する。

◎サブバージョンにご注意ください。(以下参照)



1. Illustrator を起動した状態で
[Illustrator] → [Illustrator について]
を選択してください。

2. 表示されたボックスでサブバージョンの確認ができます。このサブバージョンが「12.0・11.0」の場合、
アップデートしてください。

3. Adobe ホームページ
(<http://www.adobe.com/jp/support/downloads/illmac.html>) にて、無料で
アップデートがダウンロード可能です。
※このURLは2007年9月現在のものです。

ALL

Photoshop のバージョン

Basic environment

CS2 (9.0.2J)、CS (8.0.1J) を使用する。

◎サブバージョンにご注意ください。

※EPS (ASCII保存) での運用に限り7.0.1J、6.0.1J、5.5J、5.0.2J、4.0.1Jの使用が可能です。

ALL 使用色

Basic environment

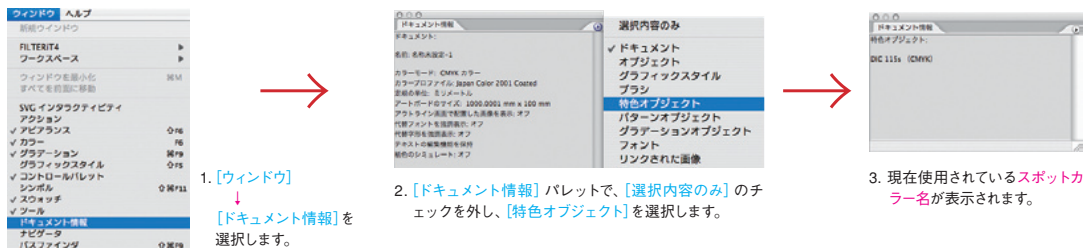
CMYK、グレースケールのみ使用。RGB、スポットカラー（カスタムカラー）は使用不可。
 スミ版+特色の場合には新聞社の指定がない限り原則として、シアン版を色版として設定する。
 モノクロ原稿は、グレースケールのみ使用。
 原稿データ内に不要な版の色指定はしない。

※RGBオブジェクトに関しては、書類のカラーモードがCMYKモードの場合、アプリケーションのカラーエンジンで強制的にCMYKに変換されるので、意図しない色味になる恐れがあります。ご注意ください。

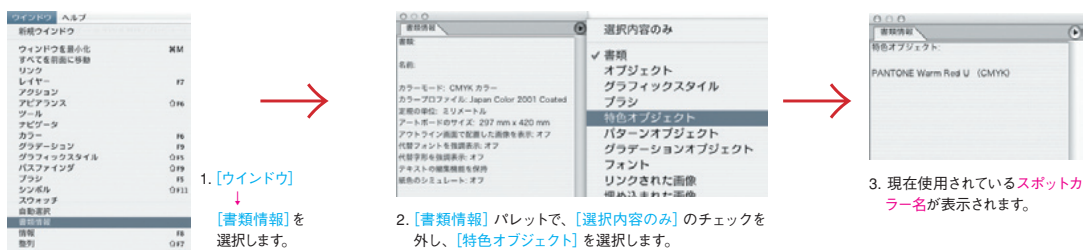
参考

スポットカラー使用状況確認方法

Illustrator CS2 12.0.1J 使用時



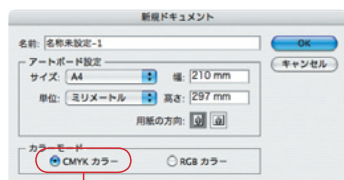
Illustrator CS 11.0.1J 使用時



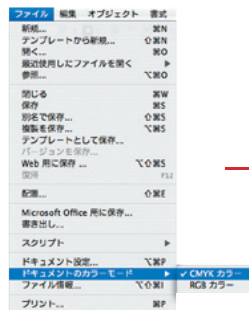
ALL 書類のカラーモード

Basic environment

書類のカラーモードをCMYKに設定する。



新規でファイルを作成する時、カラーモードはCMYKカラーを選択して作成してください。



- [ファイル] ~ [ドキュメントのカラーモード] (CS2使用時)
[ファイル] ~ [書類のカラーモード] (CS使用時)
↓
[CMYKカラー] を選択します。



- CMYKカラーに変換され、画面上も (CMYK/プレビュー) になりました。

注意

- RGBモードでしか使用できない機能を使う時、RGBモードに変換すると、その都度埋め込み画像は変換されてしまい色味が変わってしまいます。これは画像だけに言える事ではなく、RGBモードでCMYKカラーに設定したオブジェクトを作成しても、色味は変化してしまいます。結果最終的なデータが意図した色味ではなくなってしまう事もありますので、RGBモードの使用は充分注意が必要です。
- CMYKモードに変換した時、RGBモードでしか使用できない一部機能で、その効果が消えてしまう事があります。変換した後は必ずプリントアウトをして確認作業をする事をお勧めします。

ALL

TAC 値 (インキ総使用量)

Basic environment

「平網」「配置画像」を含め、TAC値(インキ総使用量)を240%以下にする。

配置画像の調整方法 (Photoshop 使用時)



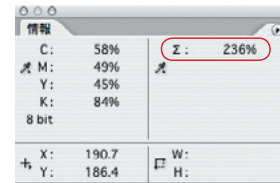
1. ウィンドウの【情報】パレットから【パレットオプション】を選択します。



2. 【情報パレットオプション】ボックスを上記のように設定します。



3. 画像の高濃度部分を【スポイトツール】で測ると【情報】パレットの左上にCMYK各版のインキ使用量(%)が右上にCMYK版合計のインキ総使用量が表示されます。



4. このインキ総使用量が240%を超えないように画像操作をしてください。

5. 画像データは修正されましたが、Illustratorのレイアウトデータ内に含まれている画像データはまだ更新されていません。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して(埋め込み直して)保存してください。

注意

- ① インキ総使用量をTAC (Total Area Coverage) 値と言いますが、このTAC値が高すぎると、インキの盛り過ぎが原因となり、ブロッキング (インキが乾く前に過重な圧力が加わるなどで、重なった用紙が接着してしまう現象) 等が起こる可能性があります。
- ② TAC値の調整は、濃度をただ下げれば良いではありません。色味の変化を最小限に抑えて、高濃度部分のみ調整するには、製版知識が必要となります。製版会社等に依頼するか、新たに入力し直す事をお薦めします。
- ③ スミ濃度の上限值は、新聞社ごとに異なります。新聞社の規定に従い原稿を制作してください。

ALL

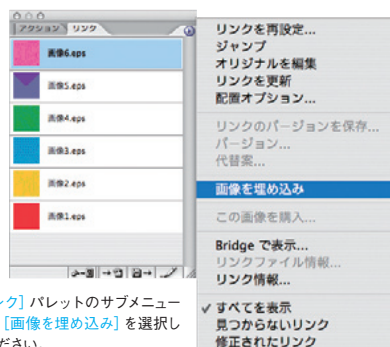
画像配置方法

Basic environment

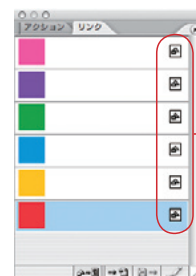
配置画像は全て埋め込む。



1. 対象となるIllustratorファイルを開いた後に、ウィンドウ上の【リンク】パレットで画像を1つ選択します。



2. 【リンク】パレットのサブメニューから【画像を埋め込み】を選択してください。



3. 1 → 2 の操作を繰り返し、画像を全て埋め込み終わったら、再保存してください。

画像を埋め込み処理が完了するとアイコンが表示されます。

注意



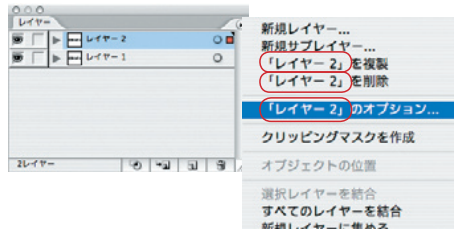
画像をリンク配置後埋め込むと、画像が拡大・移動する可能性があります。また、画像に適用した効果等が消滅する事もあります。画像を1点ずつ確認しながら埋め込み、体裁等の崩れが出た場合は修正してください。

ALL

非印刷設定

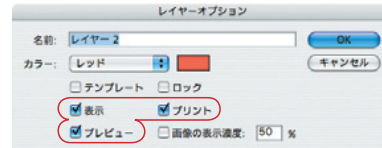
Basic environment

非表示レイヤー、非印刷レイヤー、非表示オブジェクトの設定はしない。

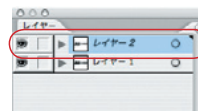


1. ウィンドウの [レイヤー] パレットから [[レイヤー 2] のオプション] を選択します。

※ 赤枠で囲んだ部分は、選択しているレイヤー名に変わります。



2. このように、[表示] [プレビュー] [印刷] にチェックした状態にしてください。



[印刷] のチェックが外れているとレイヤー名がイタリックで表記されます。

ALL

フォント

Basic environment

フォントデータは全てアウトライン化する。
フォントデータを含む孤立点は全て削除する。

参考

アウトライン化した状態



フォントを使用した状態



ALL

ファイル名

Basic environment

レイアウトデータ・配置データのファイル名は、半角カタカナと半角記号を使用しない。
アンダーバー「_」及び拡張子のドット「.」のみ使用可。
文字数は、拡張子を含め31文字以内とする。

ALL

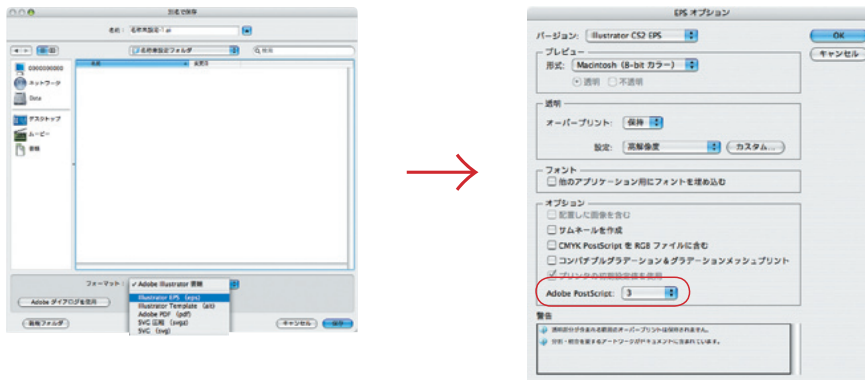
PostScript のバージョン

Basic environment

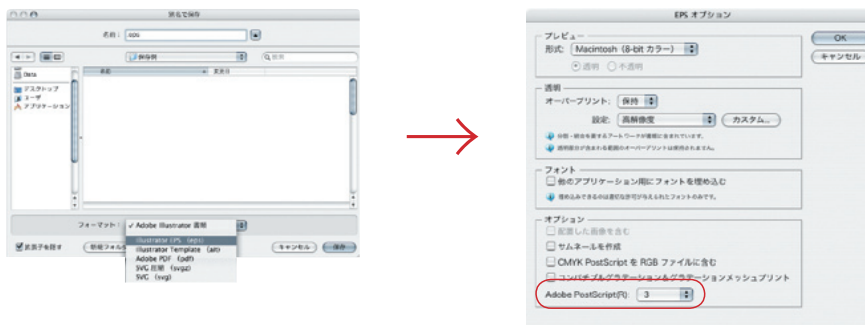
原則としてAdobe PostScript (R) 3で保存する。

※一部の新聞社では技術検証中の為、2 (=レベル2) の場合があります。

Illustrator CS2 12.0.1J 使用時



Illustrator CS 11.0.1J 使用時



参考

ポストスクリプトとは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) が開発し、1985年に公開したページ記述言語です。出力装置に合わせた解像度で出力されるため、文字・グラフィックス・画像を高品位に印刷でき、アプリケーション上では、絵や文字の回転・拡大・縮小・変形などが自由にできます。ポストスクリプト3は、1996年に発表されたポストスクリプトの新バージョンです。グラデーション・画像の出力品質や出力速度が向上しています。

ALL

データ量・データ圧縮

Basic environment

原稿データのデータ量は600MB以下にする。

原稿データを圧縮ソフトで圧縮しない。

ALL

ウィルスチェック

Basic environment

ウィルスに感染したメディアは使用しない。



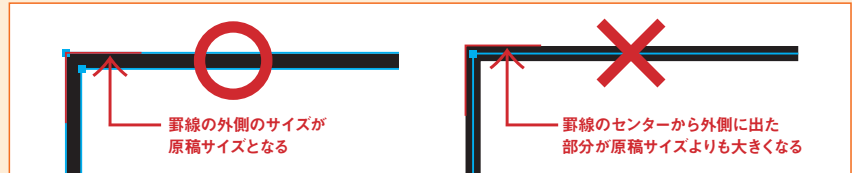
新聞社の処理により、このページの項目は運用や掲載結果が異なる場合があります。各新聞社の対応・受け入れ状況についての詳細は、直接各新聞社にお問い合わせください。(社)日本新聞協会のサイト(P-21に記載)もご参照ください。※各設定を利用する際は、注意・確認が必要です。

Uncommon 原稿サイズ・広告罫

Attention × Confirmation

広告罫がある場合は、必ずアウトライン化された罫の太さの外側を原稿サイズとする。ない場合は、塗り・線の設定がない透明罫で原稿サイズを囲むか、原稿サイズがわかるようにトンボ等を使用する。

※広告罫がない場合は新聞社により処理が異なり、受け入れができない新聞社もありますので注意・確認が必要です。



Uncommon オーバプリント

Attention × Confirmation

基本的にはデータ作成時に設定する。

※ただし、新聞社によって処理方法が異なり、掲載結果が異なる場合がありますので、事前に確認が必要です。

参考



ノセ (オーバープリント) は下の色と上の色が重なって (混色されて) 処理されます。ヌキ (ロックアウト) は上の色だけが再現されます。(図1.2) 地色によっては規定のTAC値を超える場合もありますので注意・確認が必要です。(図2) Illustratorのオーバープリントプレビュー機能を活用してください。※上記の仕上がりがイメージは極端な例です。

Uncommon スクリーンパラメータ

Attention × Confirmation

EPS画像で独自のスクリーン設定を使用する場合、新聞社によって対応が異なるので、各新聞社の仕様に合わせて設定してください。

1. [プリントプレビュー]の[スクリーン]の[プリンタの初期設定スクリーンを使用]のチェックを外す。

2. 線数・角度・網点形状を設定する
※各新聞社の仕様に合わせて設定してください。

3. [EPSオプション]の[ハーフトーンスクリーンを含める]にチェックを入れる。

画像を埋め込むとハーフトーンスクリーン情報は反映されません。独自のスクリーン設定を使用する場合は画像はリンク配置とし、保存の際に「配置した画像を含む」にチェックを入れてください。EPS画像をリンク配置で扱う場合、透明機能は使用しないでください。クリッピングパスの平滑度は、0.2デバイスピクセルに設定してください。

Photoshop

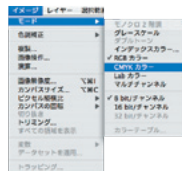
カラーモード

Photoshop CS2 Photoshop CS

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

CMYK (8 bit/チャンネル)、グレースケール (8 bit/チャンネル)、モノクロ2階調を使用する。

◎以下を参照し、RGBモードの画像はCMYKモードに変換してください。



1. 対象画像を開けた後に [イメージ] → [モード] → [CMYKカラー] を選択します。

2. この時、RGBとCMYKの色域 (表現できる色の範囲) の違いから、色味 **が変化してしまいます。画像を十分に確認して、保存してください。**

画像データ修正後は、Illustratorのレイアウトデータ内に含まれている **画像データを更新**。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して (埋め込み直して) 保存してください。

注意

RGB画像



CMYK画像

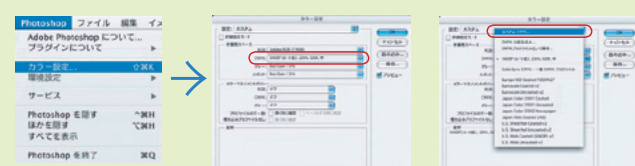


変換

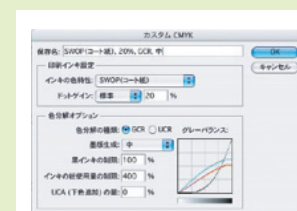
※画像はイメージです。

PhotoshopでRGBモードの画像をCMYKモードに変換すると、色味が変わってしまうことがあります。これはRGBで表現できる色の範囲よりCMYKで表現できる色の範囲が狭いため、RGB画像をCMYKに変換する時には、Photoshopの **[CMYK設定]** (右図参照) を使ってCMYKで表現した場合に、いちばん近い色に変換しているためです。

Photoshop CS 8.0.1J 使用時



1. [Photoshop] ↓ [カラー設定] をします。
2. [カラー設定] ボックスで、[作業スペース] 内の **[CMYK]** から、**[カスタムCMYK]** を選択。



RGB画像をCMYK変換する時、この **[CMYK設定]** (**[カスタムCMYK]**) ボックスで変換の設定ができます。但し、画像にあった正しい設定を行うには、製版知識が必要となります。製版会社等に依頼するか、新たに入力直すことをお勧めします。

ここに掲載した **[CMYK設定]** (**[カスタムCMYK]**) ボックスの設定値は、デフォルト値であって、この設定での変換を保証するものではありません。

※画像内の値はデフォルト値です。

Photoshop

画像解像度

Photoshop CS2 Photoshop CS

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

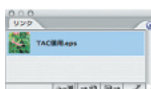
多値画像は最終出力解像度が170dpi~450dpi程度に設定する。 ※スクリーン線数の2倍程度が目安。

二値画像は800~3000dpi程度に設定する。 ※各新聞社の出力解像度に合わせることをお勧めします。

拡大縮小率は多値・二値画像共に80~120%とする。

画像解像度 500dpi・50%縮小配置時の修正方法

Illustrator での拡張を確認 (CS2 12.0.1J 使用時)



1. ウィンドウ上の **[リンク]** パレットから **[リンク情報]** を選択します。



2. リンク情報ボックスの **[変形: 拡大・縮小 (横/縦)]** で縮小率 (%) を確認します。

注意

画像埋め込み時は、%表示が変わります。これは72dpiでの縮小率を表示するからです。画像をリンク配置に置き換えて縮小率は確認してください。

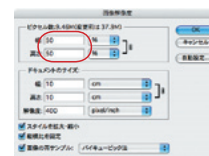
Photoshopでリサイズ



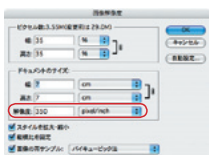
1. [イメージ] ↓ **[画像解像度]** を選択します。



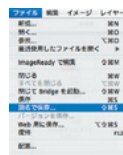
2. **[画像解像度]** ボックスで **[画像の再サンプリング]** をチェックし、**[ピクセル数]** の **[幅]・[高さ]** の単位を **[%]** にします。



3. Illustratorで確認した縮小率 (%) を入力します。(縮小率が割り切れない時、数字が微妙に変化します。)



4. 解像度を入力します。その時、先ほど入力した%表示が変わりますが、そのままOKを選択してください。



5. 画像は必ず名前を変更して保存してください。

リサイズした画像を、Illustratorで原寸再配置します。この時、リサイズ時の誤差がある為、微調整が必要な場合もあります。

注意

リサイズ時、低解像度の画像データをリサイズしても、印刷した場合ぼけた画像になってしまいます。新たに入力直す事をお勧めします。

注意

画像をリサイズする事で、線切れ・モアレ等を引き起こす要因になる事もあります。最終データでの品質確認をする事をお勧めします。

Photoshop ICCプロファイル

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

ICCプロファイルの埋め込みはしない。 ※画像を扱う場合 (RGB) の、プロファイル運用を否定するものではありません。

- [編集]**
↓
[カラー設定] を選択します。
- [カラー設定] ボックスで [カラーマネジメントポリシー] を上記のように設定します。
- Photoshop の設定が完了しましたので、画像のプロファイルを解除するために、対象画像を開いてください。
- 画像を開いた時に [埋め込まれたプロファイルの不一致] ダイアログが出たら、[作業用スペースと一致しないプロファイルは削除されます。] OK をクリックしてください。
- 画像を保存します、この時 [カラープロファイルの埋め込み] チェックボックスのチェックを外れていることを確認してください。
- 画像データは修正されましたが、Illustrator のレイアウトデータ内に含まれている画像データはまだ更新されていません。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して (埋め込み直して) 保存してください。

注意

ICCプロファイルとは、入力から出力までトータルで色管理を行う際に使用するファイルのことで、新聞広告の場合、新聞社の出力環境が特定できない状態で使用すると、オリジナルと異なる色味にデータが変換されてしまう恐れがありますので、使用できません。

Photoshop 画像データのフォーマット形式

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

画像データのフォーマットは、EPS、TIFF、PSD (Photoshopネイティブ形式) を使用する。

Photoshop < EPS 形式 > エンコーディング

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

エンコーディングは、ASCII85を選択する。

※EPSバイナリ形式はOSX環境 (UNIXベース) ではポストスクリプトエラー等のトラブルがおこる可能性が有ります。EPS-JPEG形式は非可逆圧縮の為、再保存毎に画像が劣化します。

- 対象画像を開いたら、[別名で保存] を選択。[別名で保存] ボックスで、[Photoshop EPS] を選択してください。
- [EPSオプション] ボックスで、上記のように設定してください。
- 画像データは修正されましたが、Illustrator のレイアウトデータ内に含まれている画像データはまだ更新されていません。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して (埋め込み直して) 保存してください。

Photoshop

< EPS 形式 > トランスファ関数

Photoshop CS2 Photoshop EPS Photoshop CS Photoshop EPS

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

トランスファ関数の埋め込みはしない。



1. EPS保存時の [EPSオプション] ボックスで、[トランスファ関数を含める] のチェックを外し、画面を再保存してください。



2. 画像データ修正後は、Illustratorのレイアウトデータ内に含まれている画像データを更新してください。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して (埋め込み直して) 保存してください。

注意

トランスファ関数とは、画像がRIP展開されたときに発生するドットゲインやドットロスの補正に使用します。トランスファ関数を使用して、画像とRIP展開後の色の誤差を補正できますが、印刷会社等の出力環境が分からない状態で使用すると、オリジナルと異なる色味にデータが変換されてしまう恐れがあるので、使用しないでください。

Photoshop

< EPS形式 > ポストスクリプトカラー管理

Photoshop CS2 Photoshop EPS Photoshop CS Photoshop EPS

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

『ポストスクリプトカラーマネジメント』のチェックを外す。



1. EPS保存時の [EPSオプション] ボックスで、[ポストスクリプトカラーマネジメント] のチェックを外し、画面を再保存してください。



2. 画像データ修正後は、Illustratorのレイアウトデータ内に含まれている画像データを更新してください。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して (埋め込み直して) 保存してください。

注意

[ポストスクリプトカラーマネジメント] は、アプリケーションで一番最後に EPS 保存を行ったときに指定した値が反映されるので、ファイルを開き直しても、保存時の設定を確認できません。保存時に充分注意してください。

注意

ポストスクリプトカラーマネジメントは、モニターおよびプリンタのプロファイル情報をEPS画像ファイルに埋め込み、特定の出力機を指定することができます。この情報がプロファイルに指定された以外の出力機で出力すると、画像はオリジナルと異なる色味にデータが変換されてしまう恐れがあるので、使用しないでください。

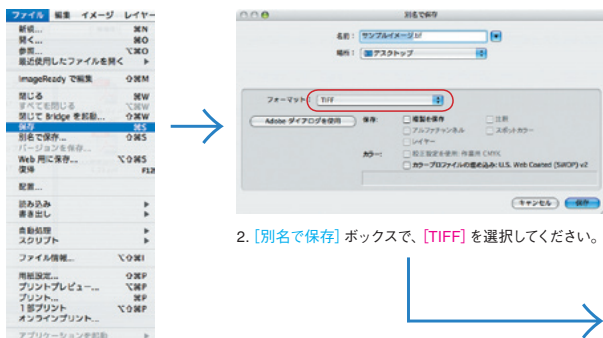
Photoshop

< TIFF 形式 > 画像圧縮

Photoshop CS2 Photoshop TIFF Photoshop CS Photoshop TIFF

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

保存時のオプションで、画像圧縮は『なし』または『LZW』または『ZIP』を選択する。 ※JPEG圧縮は不可。



2. [別名で保存] ボックスで、[TIFF] を選択してください。

1. 対象画像を開いたら、[保存] か [別名で保存] を選択します。

圧縮形式 (なし)	圧縮形式 (LZW)	圧縮形式 (ZIP)
<ol style="list-style-type: none"> 3. TIFF保存時のオプションで、画像形式は『なし』『LZW』『ZIP』の画像圧縮形式を選択してください。また、『JPEG』圧縮は非可逆圧縮で画像の劣化が起こります。 		
	<ol style="list-style-type: none"> 4. 画像データは修正されましたが、Illustratorのレイアウトデータ内に含まれている画像データはまだ更新されていません。画像が配置されているレイアウトデータを開き、リンクを貼り直して (埋め込み直して) 保存してください。 	

Photoshop

<TIFF形式およびPSD形式> レイヤー

Photoshop
CS2Photoshop
TIFFPhotoshop
PSDPhotoshop
CSPhotoshop
TIFFPhotoshop
PSD

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

レイヤーは統合する。

※Photoshop上で文字を画像として扱う場合は、文字が設定された解像度でラスターライズされ、がたつきが生じる恐れがありますのでご注意ください。

Photoshop

画像のトリミングに関する注意事項

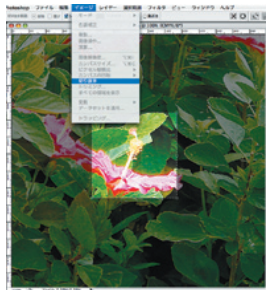
Photoshop
CS2Photoshop
CS

Photoshop CS2 (9.0.2J) / CS (8.0.1J)

マスク処理されて隠れている範囲が大きい画像データは、不必要にデータが重くなり作業効率が低下します。

画像データはPhotoshopで適切な範囲にトリミングし、データを軽くした上でIllustratorに配置する事をお勧めします。

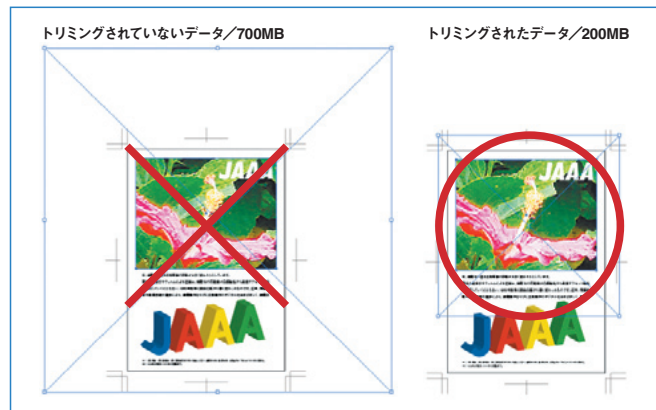
※トリミングの目安としては、総面積比の200%程度まで。



画像を切り抜く範囲を選択し、
【イメージ】→【切り抜き】を選択する。



トリミングされた軽いデータ



CS2

効果メニュー

Illustrator CS2 EPS

Illustrator CS2 (12.0.1J)

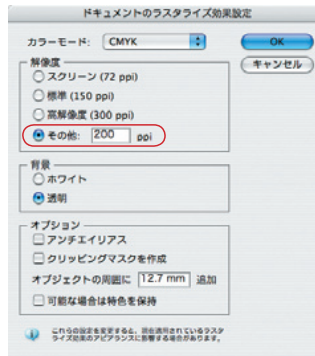
『効果』メニューの『ドキュメントのラスタライズ効果設定』の解像度を200ppi程度に設定する。

※スクリーン線数の2倍程度が目安。

※Illustratorがアピアランスの再設定に失敗する事もありますので、書類作成の際には、最初にこの設定をする事をお勧めします。



1. 対象となるIllustratorファイルを開いた後に [効果] → [ドキュメントのラスタライズ効果設定] を選択します。



2. [ドキュメントのラスタライズ効果設定] ボックスで上記のように [解像度] の [その他] を選び 200ppi 程度に設定してください。

3. 解像度設定を変更した際に、一部の機能で効果を維持できない (アピアランスを再設定してしまう) ものがあります。確認の上、修正してください。

例



[ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を 72ppi で設定、[ぼかし (ガウス)] を適用



[ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を 200ppi で再設定

上記 3 で示した、解像度設定変更の際に効果を維持できない一例です。これは、[ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] をデフォルトの 72ppi で設定し、長方形オブジェクトに、[効果] → [ぼかし] → [ぼかし (ガウス)] を適用、その後、[ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を 200ppi に再設定した物です。このように解像度に依存する効果は、再設定の際に効果を維持できません。

注意

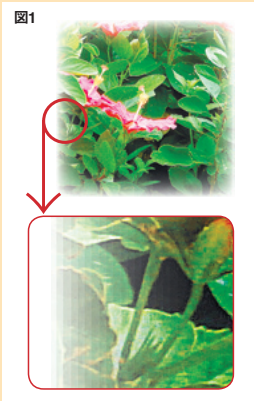


図1 [ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を 72ppi で設定、[スタイライズ] → [ぼかし] を適用

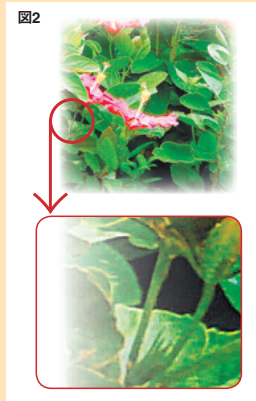


図2 [ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を 200ppi で設定、[スタイライズ] → [ぼかし] を適用

左の図は、[ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を、デフォルトの 72ppi (図 1) と 200ppi (図 2) でそれぞれ設定し、[効果] → [スタイライズ] → [ぼかし] を適用した物です。

72ppi で設定した画像は、ボケ足が低解像度化しているのがわかります。このように [ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を低く設定しますと、出力の際には低解像度のまま出力されてしまいます。また、[ドキュメントのラスタライズ効果設定 - 解像度] を変更することで、上記 (例) にもあるように、Illustrator はアピアランスを再設定してしまう事があります。この際に、Illustrator がアピアランスの再設定に失敗する事もありますので、書類作成の際には、最初にこの設定をする事をお勧めします。

CS2

書き出しとクリップボードにおける分割・統合

Illustrator CS2 EPS

Illustrator CS2 (12.0.1J)

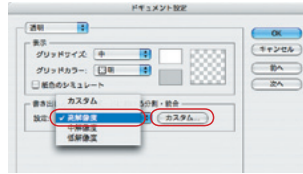
『ドキュメント設定』で『透明』の『書き出しとクリップボードにおける分割・統合』の『設定』を高解像度にする。

※新規でファイルを作成する時、設定がデフォルトに戻ってしまいます。作業を始める前にこの設定をする事をお勧めします。

1. 対象となる Illustrator ファイルを開いた後に [ファイル] → [ドキュメント設定] を選択します。

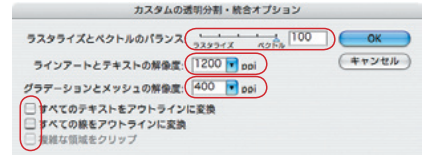


2. [ドキュメント設定] ボックスで、下記の設定を行ってください。



[書き出しとクリップボードにおける分割・統合] は設定を [高解像度] に選択します。必要であれば [カスタム] の [カスタムの透明分割・総合オプション] を設定してください。

[カスタムの透明分割・総合オプション] では [ラスタライズとベクトルのバランス] スライダーを、一番右の [ベクトル] に設定し、[ラインアートとテキストの解像度] は 1200ppi、[グラデーションとメッシュの解像度] は 400ppi に設定します。下のチェックボックスは機能を理解した上で責任を持って任意で設定を行ってください。



注意

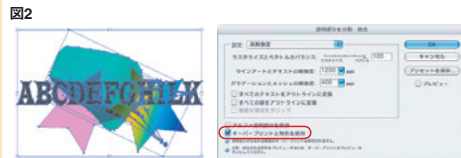
図1



画像の上に透明効果を使用したオブジェクト・グラデーションメッシュオブジェクト・テキストオブジェクトを作成。上記設定を行った正しい出力結果。

上記設定を行わなかった為、低解像度化してしまった出力結果。

図2



オブジェクトを選択後、[オブジェクト] → [透明部分を分割・統合] を選択。[透明部分を分割・統合] ボックスで設定した値での出力結果が予想できません。[オーバープリントと特色を保持] にチェックを入れてください。

Illustrator CS2 (12.0.1J) 使用時、上記の設定がされていないと、出力の際オブジェクトが粗くなったりテキストがラスタライズされてしまう等の問題が発生してしまいます (図1参照)。但しこの設定はあくまでも最低値であり、必ずしも出力を保証するものではありません。[透明部分を分割] 機能 (図2参照) を使用すると、出力結果が予測できます。確認の上設定をする事をお勧めします。

CS2

保存形式

Illustrator CS2 EPS

Illustrator CS2 (12.0.1J)

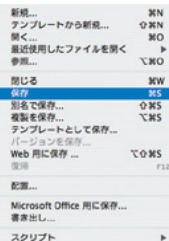
『EPS オプション』で『透明』の『オーバープリント』は保持を選択する。

透明効果を使用している場合は、『EPS オプション』で『透明』の『設定』は高解像度を選択する。

(透明効果を使用していない場合は、設定がグレーアウトされており、選択できない。)

※新規でファイルを作成する時、設定がデフォルトに戻ってしまいます。作業を始める前にこの設定をする事をお勧めします。

1. 対象となる Illustrator ファイルを開いた後に [ファイル] → [保存] を選択します。

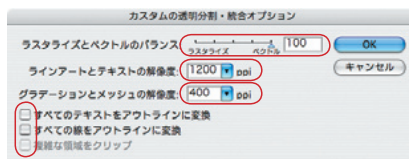


2. データ保存時 [EPS オプション] ボックスで、下記の設定を行ってください。



透明のオーバープリントは [保持]、設定は [高解像度] を選択し、[カスタム] にて数値の設定を確認します。

画像を埋め込み配置時、[EPS オプション] ボックスで [配置した画像を含む] 項目がチェックできなくなっています。また、[ポストスクリプト] は [3] を選択してください。

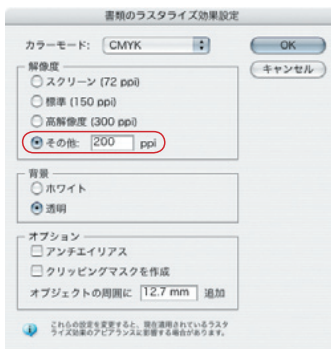


[カスタムの透明分割・総合オプション] では [ラスタライズとベクトルのバランス] スライダーを、一番右の [ベクトル] に設定し、[ラインアートとテキストの解像度] は 1200ppi、[グラデーションとメッシュの解像度] は 400ppi に設定します。下のチェックボックスは機能を理解した上で責任を持って任意で設定を行ってください。

『効果』メニューの『書類のラスタライズ効果設定』の解像度を200ppi程度に設定する。

※スクリーン線数の2倍程度が目安。

※Illustratorがアピアランスの再設定に失敗する事もありますので、書類作成の際には、最初にこの設定をする事をお薦めします。



1. 対象となるIllustratorファイルを開いた後に [効果] → [書類のラスタライズ効果設定] を選択します。

2. [書類のラスタライズ効果設定] ボックスで上記のように [解像度] の [その他] を選び 200ppi 程度に設定してください。

3. 解像度設定を変更した際に、一部の機能で効果を維持できない(アピアランスを再設定してしまう)ものがあります。確認の上、修正してください。

例



[書類のラスタライズ効果設定-解像度]を72ppiで設定、[ぼかし(ガウス)]を適用



[書類のラスタライズ効果設定-解像度]を200ppiで再設定

上記3で示した、解像度設定変更の際に効果を維持できない一例です。これは、[書類のラスタライズ効果設定-解像度]をデフォルトの72ppiで設定し、長方形オブジェクトに、[効果] → [ぼかし] → [ぼかし(ガウス)]を適用、その後、[書類のラスタライズ効果設定-解像度]を200ppiに再設定した物です。このように解像度に依存する効果は、再設定の際に効果を維持できません。

注意

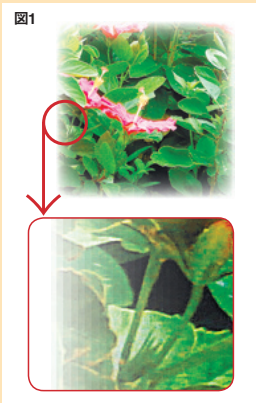


図1 [書類のラスタライズ効果設定-解像度]を72ppiで設定、[スタイル] → [ぼかし]を適用

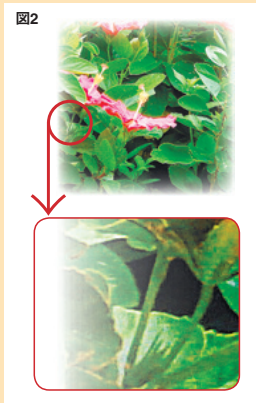


図2 [書類のラスタライズ効果設定-解像度]を200ppiで設定、[スタイル] → [ぼかし]を適用

左の図は、[書類のラスタライズ効果設定-解像度]を、デフォルトの72ppi(図1)と200ppi(図2)でそれぞれ設定し、[効果] → [スタイル] → [ぼかし]を適用した物です。

72ppiで設定した画像は、ボケ足が低解像度化しているのがわかります。このように [書類のラスタライズ効果設定-解像度]を低く設定しますと、出力の際には低解像度のまま出力されてしまいます。また、[書類のラスタライズ効果設定-解像度]を変更することで、上記(例)にもあるように、Illustratorはアピアランスを再設定してしまう事があります。この際に、Illustratorがアピアランスの再設定に失敗する事もありますので、書類作成の際には、最初にこの設定をする事をお薦めします。

CS

書き出しとクリップボードにおける分割・統合

Illustrator CS EPS

Illustrator CS (11.0.1J)

『書類設定』で『透明』の『書き出しとクリップボードにおける分割・統合』の『設定』を高解像度にする。

※新規でファイルを作成する時、設定がデフォルトに戻ってしまいます。作業を始める前にこの設定をする事をお勧めします。

1. 対象となる

Illustratorファイルを開いた後に
[ファイル]
↓
[書類設定]
を選択します。

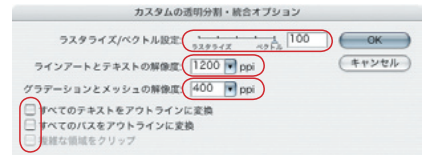


2. [書類設定] ボックスで、下記の設定を行ってください。



[書き出しとクリップボードにおける分割・統合] は設定を [高解像度] に選択します。必要であれば [カスタム] の [カスタムの透明分割・総合オプション] を設定してください。

[カスタムの透明分割・総合オプション] では [ラスタライズ/ベクトル設定] スライダーを、一番右の [ベクトル] に設定し、[ラインアートとテキストの解像度] は 1200ppi、[グラデーションとメッシュの解像度] は 400ppi に設定します。下のチェックボックスは機能を理解した上で責任を持って任意で設定を行ってください。



注意

図1



画像の上に透明効果を使用したオブジェクト・グラデーションメッシュオブジェクト・テキストオブジェクトを作成。上記設定を行った正しい出力結果。

上記設定を行わなかった為、低解像度化してしまった出力結果。

図2



オブジェクトを選択後、[オブジェクト] → [透明部分を分割・統合] を選択。[透明部分を分割・統合] ボックスで設定した値での出力結果が予想できません。[オーバープリントと特色を保持] にチェックを入れてください。

IllustratorCS (11.0.1J) 使用時、上記の設定がされていないと、出力の際オブジェクトが粗くなったリテキストがラスタライズされてしまう等の問題が発生してしまいます (図1参照)。但しこの設定はあくまでも最低値であり、必ずしも出力を保証する物ではありません。[透明部分を分割] 機能 (図2参照) を使用すると、出力結果が予測できます。確認の上設定をする事をお勧めします。

CS

保存形式

Illustrator CS EPS

Illustrator CS (11.0.1J)

『EPS オプション』で『透明』の『オーバープリント』は保持を選択する。

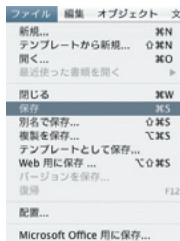
透明効果を使用している場合は、『EPS オプション』で『透明』の『設定』は高解像度を選択する。

(透明効果を使用していない場合は、設定がグレーアウトされており、選択できない。)

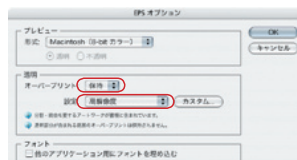
※新規でファイルを作成する時、設定がデフォルトに戻ってしまいます。作業を始める前にこの設定をする事をお勧めします。

1. 対象となる

Illustratorファイルを開いた後に
[ファイル] → [保存]
を選択します。

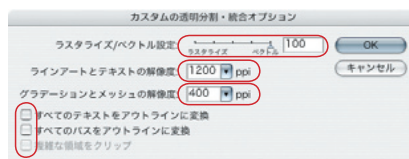


2. データ保存時 [EPSオプション] ボックスで、下記の設定を行ってください。



透明のオーバープリントは [保持]、設定は [高解像度] を選択します。必要であれば [カスタム] の [カスタムの透明分割・総合オプション] を設定してください。

画像を埋め込み配置時、[EPS オプション] ボックスで [配置した画像を含む] 項目がチェックできなくなっています。また、[ポストスクリプト] は [3] を選択してください。



[カスタムの透明分割・総合オプション] では [ラスタライズ/ベクトル設定] スライダーを、一番右の [ベクトル] に設定し、[ラインアートとテキストの解像度] は 1200ppi、[グラデーションとメッシュの解像度] は 400ppi に設定します。下のチェックボックスは機能を理解した上で責任を持って任意で設定を行ってください。

SET 送稿メディア

Mac OS X 送稿セット

MO/Macフォーマットの640MB以下の3.5インチMOを使用する。

もしくは

CD-R/Macフォーマットの700MB以下のCD-Rを使用する (CD-RWは使用不可)。

1原稿 1メディア 1ファイルとする。

◎ただし、各新聞社との相談により、掲載内容によって複数の原稿を1メディアに入れることも可能です。

SET メディアラベル

送稿に使うメディアにはファイル名、広告主名、掲載予定日、サイズ、広告会社名を記入してください。

本ガイド (ver.2.0) で運用する場合は、ラベル内に必ず赤字で2.0と明記してください。

ファイル名		2.0
広告主		
掲載媒体	エリア	
掲載予定日	<input type="checkbox"/> 朝刊 <input type="checkbox"/> 夕刊	
サイズ	色数	
広告会社		
◀ 記録不可		
◀ 記録可		

ラベルの例



ラベルの例

SET DS簡易ゲラ

Mac OS X 送稿セット

DS Checker 2008を用いて原稿の書き出しを行った場合は、バーコードが付いたDS簡易ゲラを添付する。

◎各新聞社毎に運用が異なる場合がありますので、送稿担当者の方は事前に新聞社側と確認を取ってください。

DS Checker 2008は本ガイド (ver.2.0) に対応した新しいバージョンです。

SET 色見本ゲラ

Mac OS X 送稿セット

カラー原稿の場合、各新聞社の規定に基づいた色見本となる念校が必要な場合があります。

◎NSACについては、当協会発行の「NSAC運用GUIDE VOL.1.0」を参照してください。

下記の日本広告業協会のホームページからダウンロードできます。

<http://www.jaaa.ne.jp/activity/2.html>

(社)日本新聞協会のサイト(新聞広告データアーカイブ)について……………

……………

(社)日本新聞協会は2007年8月に、新聞広告総合サイト「新聞広告データアーカイブ」をリニューアルしました。サイト上には、各新聞社の入稿・制作マニュアルを定期的に集約し、アップしています。各新聞社のマニュアルにおける不明な点、最新の情報につきましては、各新聞社に直接問い合わせてください。

……………



<http://www.pressnet.or.jp/adarc/edi/manual02.html>

【協力】

- 社団法人 日本新聞協会 <http://www.pressnet.or.jp/>
- 株式会社 電通テック D.D.C. <http://www.dentsutec.co.jp/>
- 株式会社 博報堂アドダム <http://www.ad-dam.co.jp/>
- 株式会社 ADKアーツ <http://www.adk-arts.jp/>

【参考文献：ガイド、マニュアルなど】

- 「現場で役立つ印刷用語集」(社団法人 日本印刷産業連合会)
- 「DTP WORLD 別冊 カラー図解 DTP&印刷スーパー仕組み辞典」(DTP WORLD編集部)
- 「『フルデータ』デジタル制作ガイド」(雑誌広告デジタル送稿推進協議会)
- 「Welcome to Adobe's Printing Solution! 第2版」(アドビシステムズ株式会社 OEM セールスグループ)

(順不同)



<http://www.jaaa.ne.jp/>

新聞広告デジタル制作・送稿ガイド ver.2.0

発行日：2007年11月7日 [非売品]

編者：(社) 日本広告業協会

発行者：大島 邦彦

発行：© (社) 日本広告業協会

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル8階 Tel. 03-5568-0876 Fax. 03-5568-0889

本ガイドラインに対するご意見・お問い合わせは、日本広告業協会・事務局 (info@jaaa.ne.jp) まで電子メールにてお願いします。
いただいた内容に対しては原則として回答はいたしません。改訂時の参考とさせていただきます。

- 本ガイドの一部または全部を(社)日本広告業協会の事前承諾なしに改編することを禁じます。
- 本ガイドに記載された内容は推奨情報の提供を目的としており、予告なしに変更されることがあります。
- 本ガイドに記載された全てのブランド名または製品名は個々の所有者の商標もしくは登録商標です。

Apple、Macintosh、MacOSはApple Inc.の商標で、米国および各国で登録されています。

Adobe Illustrator、PhotoshopおよびPostScriptはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。